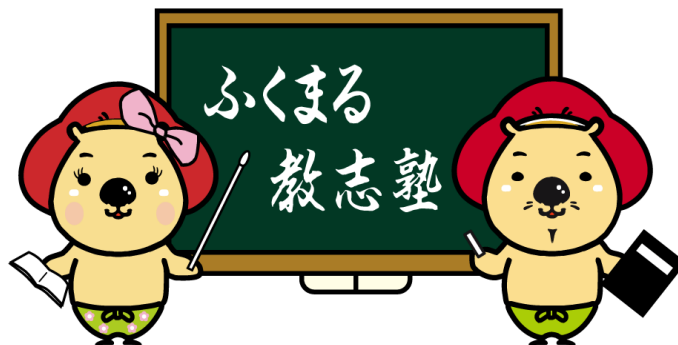


## 第9回 ふくまる夢たまごセミナー



日時 12月2日(金) 18:00~20:00

場所 池田市庁舎 7階大会議室

内容 おもしろ授業実践

「算数科」

講師 内村 衛 氏 (池田市立池田小学校 教頭)

「国語科」

講師 河合 啓志 氏 (池田市立石橋小学校 教頭)



参加の塾生は、11名、7階大会議室で授業が始まりました。1限目は「算数」、最初に内村先生から、自分にとって『授業力とは何か?』と問われました。塾生一人ひとりが、授業力について考え、様々な意見が出された後、内村先生からは、授業力=指導力×教材研究力+人間力ということが示されました。

内村先生の「あくまでも、いろいろな考え方がある中での一つです。」という言葉から、どのような考

えも受け入れ、真摯に向き合う姿が塾生に伝わり、その人間力に魅了されたようです。

次は、算数科の面白さを体験するために9の段の九九のヒミツに迫りました。九九は覚えて終わりではなく、その中にある規則性を自分たちで探し出していく面白さを実感しました。



2限目は、「国語」、河合先生より、チラシが言葉の宝庫であること、断定・対比より名言を作ること、説明文の構造の種類等を学びました。自分の言葉のセンスを磨くことの意味を知るとともに、先生からの「自分の言葉は子どもを育てるに値しますか」という問いが強く印象に残ったようです。

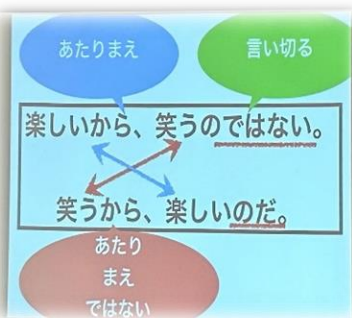


最後に河合先生は、先知恵・後知恵について、話されました。「子どもに失敗させないように先知恵をつける。失敗した後、どう対処したらよいか後知恵をつける、どちらがいい教師なんだろうと考えます。今は、子どもがつまづく場を設定し、それを乗り越える方法を教えることが教育ではないか、と考えています。」

お二人の先生から、授業の面白さと、教師としての人間的な魅力を学ぶセミナーになりました。

### < 塾生の感想から >

○ 日頃、普通に使っている九九があんなに考え面白いものになるんだなと思いました。自分が先生の立場になった時、どの学習でも子どもたちが考えることのできる授業をしなければならぬと思いました。



○ 子どもたちに少しでも良い影響を与えられるように、自分の経験を積んだり、日々、物事を深く考えたりして、言葉のセンスを磨いていきたいです。

○ ユーモアのある授業で、大変楽しかったです。先生方を見て人間的な魅力を高めていきたいと思いました。

### おもしろ授業実践

#### 考えるおもしろさ

見通す 比べる 分類する  
類推する きまりを見つける  
きまりを広げる